



東北生産性本部

労使定例政策研究会第1回例会開催



9月11日（水）開催

43名参加

★テーマ「企業と人間力」

★講師 NECトキン元社長・前会長

(株)トラス・テック (株) TTM

最高顧問 工学博士

羽田祐一氏

【今年度の労使定例政策研究会の開催目的について】

我が国は現在、安部政権のアベノミクス効果で景気回復期待が先行しておりますが、長引く景気低迷等による企業活動の縮小と閉塞感、個々人の業務量の増加やITによる業務のスピード化、働く人の価値観の多様化などは、職場のメンタルヘルスや現場力、人間力に何らかの影響を与えており、「健康でいきいきとした職場」を再生することが重要であります。チームワーク、コミュニケーション、助け合い、仲間意識、安心感のある職場ではOJTが機能し、共通の目標を目指すことができ、企業の生産性向上に大きく寄与することができます。このような職場意識の機能向上により企業の人財力の底上げとメンタルヘルス不調の増加によるネガティブコストの派生を防止する取り組みは労使共通の課題であり、人財力のある職場づくりに寄与することを目的に開催いたします。

人間力とは「頭脳知力+身体知力」である。「頭脳知」も重要であるが、「身体知」を磨く事が重要です。

～人生も企業も常に途上、今が一番若い、今が青春～

努力すれば無限の能力がある！





第1回例会は、半世紀近くにわたり半導体事業発展に従事し、現場100回を提唱し、身体知重視で「電子立国日本」を支えられました羽田先生を講師にお招きし開催いたしました。

先生からは「人間の構造と企業の構造は同じ」「人間の活性化（人づくり）で企業は健全化し発展する」「人づくりは頭脳知と身体知を向上させること」「人は人を管理できない。管理しなくても良いようにすべし」など人間力を高めるためには頭脳知力は勿論、身体知力向上が非常に重要であると主張されました。

また、「全ての解は現場にあり」「現場実践教育が非常に重要」など現場での行動、実践により得た知識から価値を生み出す“身体知人間”を育てること、そして現場重視型会社になることが重要と指摘されました。

参加者の中には先生の話聞いてとてもポジティブになれたとの感想を寄せられる等、大変有意義な研究会になりました。先生ならびに参加者の皆さまに感謝申し上げます。

参加者の中には先生の話聞いてとてもポジティブになれたとの感想を寄せられる等、大変有意義な研究会になりました。先生ならびに参加者の皆さまに感謝申し上げます。

今後の労使定例政策研究会の予定について

第2回例会～第4回例会 於：東北電労会館 2階大会議室

例会	日時	演題・講師
第2回	10月3日 14:00～17:00	1部：快適職場メンタルヘルス「安全・安心・安定の保証」 2部：ユーモア心理学「ユーモアと安全」 産業カウンセラー 渡邊正春 氏
第3回	翌2月5日 14:30～16:00	「職場における労災・過労死・精神疾患の現状と対策」 片平法律事務所 弁護士 武田貴志 氏
第4回	翌3月5日 14:30～16:00	「どんな時代も人財は宝」 イエローハットグループ（株）ホットマン代表取締役 伊藤信幸 氏

第一義 ～音楽は無限大～

昨年に引き続き9月7日に第23回ジャズフェスにカメラ片手に行ってきました。ケヤキ並木の定禅寺通りをはじめとした仙台の街中がステージに変わり、街中に音楽が溢れていました。ジャンルはジャズやロック、ゴスペルなど様々です。700組以上のバンドで4000人以上が演奏すると聞きました。正に日本最大の規模で、聴衆は70万人以上で、仙台への経済効果は、七夕などを超えて一番だそうであります。あの震災から二年半が過ぎましたが復興はまだまだの感がありますが、ジャズフェス23rdテーマは「音楽は無限大」であります。

「音楽と共に、明日へ、彼方へ、可能な限り飛翔！」（記S・Y）